



## サッカー招待 政治資金規正法に触れるのでは？

9月16日、田中成佳議員（無所属）が細江市長の政治姿勢について質問されました。自治会長（市から補助金交付されている自治会の）からの細江市長への飲食接待で、問題になった経過が既にあります。

岐阜市はFC岐阜へ2000万円出資しているとのこと、これを補助金と解釈すると、サッカー観戦招待を金銭、金券、サービスと同種と解釈でき、政治資金規正法に触れるのでは？ 法は現金だけでなく人の派遣などを含む「サービス」も対象と思われる。シーズン初めの開幕式などの「公務性」の高いと思われる試合でなく毎回となると、疑わしいのでは？（田中議員の県選管への調査）FC岐阜からの株主優待サッカー券が秘書課と教育委員会で全部消費されていた？ 本来の株主は岐阜市民では！ 広く市民に宣伝し、優待券は市民への抽選FC岐阜に親しんで頂くのがあるべき姿ではないか。

7月30日（土）のもえぎの里体育館の完成式を「挨拶だけで中途退席し、何処に行かれたのか」田中議員が質問された。当日は市議員が20名は出席し、地元を中心に多くの関係者も参加されていた。一生懸命練習されたであろう中学生のマンドリンの演奏などがありました。さて演奏も聴かず「公務中途退席」の理由は「公務」か？の質問。

「ゴルフとの情報も複数あるが、ゴルフですか？」の質問。細江市長は答弁せずのまま。肯定も、否定もありませんでした。「公用車へは夫人同伴か？」への答弁もなし。

## メディア・コスモスの雨漏りについて 松原のりかず代表質問

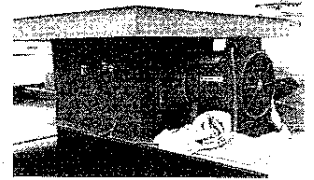
### 1年経過点検で 23項目・570箇所 不良発見！

既に、先の6月議会質問で「メディアコスモスの不良箇所問題」は水漏れ（松原のりかずは雨漏りと考えている）19回に代表される言い訳不可能の状態でした。その後、新たな水漏れが発生。更には修理完了とされていた金華山テラスからの雨漏りも発生しています。新築の完成1年目イベントを開いた建築物の不良が相次ぎ拡大しています。市民参画部の説明を求めましたら不良項目は「コンクリートのひび」であるクラックでいえば400箇所以上。1年点検の不良箇所は全部で570箇所。最新集計では水漏れ12箇所21回以上と思われます。現在把握されているだけで不良箇所580箇所にもなると思われます。

### 困ったときの 外部有識者・専門家 だが、それ以前の問題が！

市民参画部の「検討会」については、無所属クラブは「不良工事を行なった業者の基礎資料を基に検討会が開かれるのはダメですよ。」と指摘させて頂きました。しかし、それ以前の問題として、検討会への「漏水原因」（報告書）についての設計者と施工者での「見解が異なる」との参画部の報告を受ける事態となりました。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500



▲写真（岐阜市市民参画部）・仮設の換気装置

## 雨漏り止まらず 屋上の天井内乾燥用送風機を追加して 3台に！

昨年、松原のりかずは、屋上の仮設送風機を発見し「停止しなければ雨漏りを否定する根拠が確認できない。すぐ止めるべきです。」と指摘。参画部は「止められません」と回答。「では、いつまで動かすのか？」（松原）の質問に「2016年5月末」（部）実に1年と回答。送風機稼働期間中に17回、以前の1回と、5月停止後の1回をたして19回の水漏れ。月2回以上の水漏れも記録されることになりました。「乾燥機を止めなかった理由」がここにあります。結果、5月以降の現在も送風機は稼働中です。

さらに、ここに来て撤去どころか、仮設送風機をもう一台増設して2台から3台にするとの報告を受けました。そこで、以下4点 市民参画部長に伺います。

- 1 建設費60億円の建築物天井からの水漏れの原因について、驚くべきことに、伊藤設計と戸田建設の意見が異なっているが、この「相違」についての部の見解は。
- 2 「相違」の理由は「設計者」と「施工者」間の「水漏れの主な原因者はどちらか」との「責任のなすり合い」と理解してよいか。
- 3 「まだ施工時の水分がある」との伊藤設計の見解で判断するなら、施工時から約1年半が経過したが、その「施工時の」とされる「水分」は、あと何ヶ月経過したら除去できるのか。伊藤設計の見解を把握しているか。
- 4 一年点検結果は、指摘されてから報告された。市役所に対し情報の隠蔽体質も指摘されている。伊藤設計と戸田建設の統一意見の発表時期が9月議会後に設定されているのはなぜか。



松原のりかず  
☎058-253-2500